平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　株式会社 椿本チエイン　　上場取引所　東 大
コード番号　6371　URL　http://www.tsubakimoto.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 長 勇
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画センター長　(氏名) 山本 哲也　TEL 06-6441-0054

四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日　配当支払開始予定日　平成24年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	72,773	4.2	6,419	15.3	6,525	14.7	3,810	22.6
24年3月期第2四半期	69,865	2.3	5,567	4.2	5,686	5.1	3,108	△1.6

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　2,056百万円　(40.7%)　24年3月期第2四半期　1,461百万円　(216.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	20.36	―
24年3月期第2四半期	16.71	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	199,629	97,154	45.6
24年3月期	191,766	96,335	46.9

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　90,955百万円　24年3月期　89,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	3.00	―	4.00	7.00
25年3月期	―	3.00			
25年3月期(予想)			―	4.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	3.5	12,100	0.2	12,100	△0.3	6,800	△0.2	36.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 椿本鏈条(天津)有限公司 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	191,406,969 株	24年3月期	191,406,969 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	4,255,151 株	24年3月期	4,246,240 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	187,157,603 株	24年3月期2Q	186,006,873 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではございません。

（参考） 個別業績の概要

平成25年３月期第２四半期の個別業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

個別経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	39,213	7.0	2,599	62.4	4,199	31.1	3,049	22.5
24年３月期第２四半期	36,647	△4.2	1,600	△27.6	3,204	△3.1	2,489	13.0

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 …… P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… P. 5
3. 四半期連結財務諸表 …… P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表 …… P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… P. 12
(5) セグメント情報等 …… P. 12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… P. 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年４月1日～平成24年９月30日）における当社グループの事業環境は、東日本大震災からの復興需要や環境対応車を中心とした自動車生産の増加などにより緩やかな回復基調をたどってきましたが、欧州経済の低迷や中国経済の成長鈍化などによる世界景気の減速、日中関係の悪化に伴う中国ビジネスの減速により予断を許さない状況となりました。

このような状況の下、当第２四半期連結累計期間の受注高は722億11百万円（前年同期比2.4%増）、売上高は727億73百万円（同4.2%増）となりました。利益につきましては、営業利益は64億19百万円（同15.3%増）、経常利益は65億25百万円（同14.7%増）、四半期純利益は38億10百万円（同22.6%増）となりました。

なお、セグメント別の概況は次のとおりです。

［チェーン］

チェーンにつきましては、北米、欧州において取替用の駆動用チェーンやＯＥＭ向け搬送用チェーンの販売が堅調に推移しましたが、日本国内で駆動用チェーンやケーブル・ホース支持案内装置などの販売が減少したことから、売上高は前年同期比で減収となりました。

以上により、チェーンの受注高は238億77百万円（前年同期比5.6%減）、売上高は245億８百万円（同3.0%減）、営業利益は19億22百万円（同5.6%増）となりました。

［精機］

精機につきましては、欧州でＯＥＭ向けクラッチ、中国では減速機などの販売が好調であった一方、日本国内は液晶・半導体業界や鉄鋼業界向けの販売が低調、中国以外のアジア地域も販売が低調に推移したことなどから、売上高は前年同期比で減収となりました。

以上により、精機の受注高は96億60百万円（前年同期比11.8%減）、売上高は98億26百万円（同8.7%減）、営業利益は10億17百万円（同26.2%減）となりました。

［自動車部品］

自動車部品につきましては、環境対応車を中心とした自動車生産の増加により、日本国内での自動車エンジン用タイミングチェーンドライブシステムの販売が好調に推移しました。また、北米、欧州、タイ、中国、韓国の各拠点でも同商品の販売が好調であったことから、売上高は前年同期比で増収となりましたが、日中関係悪化に伴う日系自動車メーカーの自動車生産減少などにより先行き不透明な状況となりました。

以上により、自動車部品の受注高は243億17百万円（前年同期比24.0%増）、売上高は243億96百万円（同22.9%増）、営業利益は32億44百万円（同87.0%増）となりました。

［マテハン］

マテハンにつきましては、流通業界向け仕分け設備、粉粒体搬送設備、工作機械業界向け搬送設備の販売が堅調でしたが、米国での自動車業界向け搬送設備の販売が減少したことなどから、売上高は前年同期比で減収となりました。

以上により、マテハンの受注高は132億78百万円（前年同期比3.4%減）、売上高は130億75百万円（同0.5%減）、営業利益は２億61百万円（同28.9%減）となりました。

［その他］

その他の受注高は10億77百万円（前年同期比17.4%増）、売上高は９億68百万円（同13.8%増）、営業利益は92百万円（同46.4%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

【財政状態に関する分析】

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して78億63百万円増加し、1,996億29百万円となりました。

流動資産は、主に譲渡性預金の減少により有価証券が40億16百万円減少した一方で、椿本連条（天津）有限公司の新規連結や定期預金の増加などにより現金及び預金が85億18百万円増加したことから、前連結会計年度末と比較して51億98百万円増加し、918億28百万円となりました。

固定資産は、椿本鏈条（天津）有限公司の新規連結や保有株式の時価下落などにより投資その他の資産が38億16百万円減少した一方で、メイフラン・ホールディングスグループ傘下の全事業を取得したことなどによりのれんが43億69百万円増加したこと、生産設備への投資などにより有形固定資産が22億72百万円増加したことから、前連結会計年度末と比較して26億65百万円増加し、1,078億１百万円となりました。

（負債）

負債は、長期借入金が75億81百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して70億45百万円増加し、1,024億75百万円となりました。

（純資産）

純資産は、保有株式の時価下落などによりその他有価証券評価差額金が11億77百万円減少したことや、為替の変動により為替換算調整勘定が９億12百万円減少した一方で、利益剰余金が30億94百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して８億18百万円増加の971億54百万円となり、自己資本比率は45.6%となりました。

【キャッシュ・フローの状況に関する分析】

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して45億30百万円増加し、184億46百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は69億41百万円（前年同期は14億94百万円の増加）となりました。これは、法人税等の支払による25億34百万円の支出があった一方で、税金等調整前四半期純利益を63億77百万円計上したこと、売上債権が27億43百万円減少したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は119億80百万円（前年同期は40億59百万円の減少）となりました。これは、メイフラン・ホールディングスグループ傘下の子会社株式及び出資金の取得などによる支出が63億13百万円あったことや、自動車部品生産設備等への設備投資代金の決済に59億16百万円支出したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は75億36百万円（前年同期は９億15百万円の減少）となりました。これは、短期借入金の純減が16億97百万円あったことや、配当金の支払による支出が７億48百万円あった一方で、長期借入れによる収入が103億97百万円あったことなどによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社は平成24年８月にメイフラン・ホールディングスグループ（米国）傘下の全事業を取得・子会社化しました。同グループはチップコンベヤ・スクラップコンベヤ事業における優れた商品開発力と生産力、グローバルな販売ネットワークを有しており、当社グループのチップコンベヤ・スクラップコンベヤの商品力や販売力強化に加えて、新商品の共同開発、グローバル生産供給体制の構築などにより、シナジー効果を発揮してまいります。

なお、平成25年３月期の業績につきましては、欧州経済の低迷や中国経済の成長鈍化などによる世界景気の減速、日中関係の悪化に伴う中国ビジネスの減速、日本国内における環境対応車への補助金終了の反動による自動車生産の減少など、当社グループの事業環境は一層厳しさを増すことが見込まれることから、平成24年５月11日に公表した業績予想数値を下記の通り修正いたします。

なお、通期連結業績予想数値の前提となる為替レートは、１米ドル=77円、１ユーロ=103円を前提としております。

平成25年3月期通期の連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)（平成24年5月11日 発表）	150,000	13,500	13,400	7,700	41.14
今回修正予想(B)	150,000	12,100	12,100	6,800	36.33
増減額(B－A)	―	△1,400	△1,300	△900	―
増減率(%)	―	△10.4	△9.7	△11.7	―

（ご参考）平成25年3月期通期の個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)（平成24年5月11日 発表）	82,000	5,700	7,500	5,000	26.72
今回修正予想(B)	79,000	5,300	7,000	4,700	25.11
増減額 (B－A)	△3,000	△400	△500	△300	―
増減率 (%)	△3.7	△7.0	△6.7	△6.0	―

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結累計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であった椿本鏈条（天津）有限公司について重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,661	18,180
受取手形及び売掛金	42,886	41,436
有価証券	4,468	452
商品及び製品	12,612	12,343
仕掛品	8,251	9,647
原材料及び貯蔵品	5,029	5,584
その他	4,086	4,533
貸倒引当金	△367	△349
流動資産合計	86,630	91,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,082	22,168
機械装置及び運搬具（純額）	18,143	19,614
工具、器具及び備品（純額）	1,787	1,812
土地	36,384	36,839
建設仮勘定	4,363	4,599
有形固定資産合計	82,761	85,034
無形固定資産		
のれん	57	4,427
その他	1,659	1,498
無形固定資産合計	1,716	5,926
投資その他の資産		
投資有価証券	12,990	11,213
その他	7,796	5,762
貸倒引当金	△129	△135
投資その他の資産合計	20,657	16,840
固定資産合計	105,135	107,801
資産合計	191,766	199,629

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,779	26,280
短期借入金	10,141	8,384
1年内返済予定の長期借入金	453	3,413
未払法人税等	2,283	2,165
賞与引当金	3,059	3,077
工事損失引当金	58	37
資産除去債務	12	―
その他	10,756	11,148
流動負債合計	54,544	54,507
固定負債		
長期借入金	16,810	24,392
退職給付引当金	9,722	9,621
役員退職慰労引当金	253	220
資産除去債務	237	245
その他	13,861	13,488
固定負債合計	40,885	47,968
負債合計	95,430	102,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,657	12,657
利益剰余金	77,167	80,261
自己株式	△2,009	△2,013
株主資本合計	104,892	107,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,122	1,944
繰延ヘッジ損益	△61	7
土地再評価差額金	△11,312	△11,348
為替換算調整勘定	△6,718	△7,630
その他の包括利益累計額合計	△14,969	△17,026
少数株主持分	6,412	6,198
純資産合計	96,335	97,154
負債純資産合計	191,766	199,629

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	69,865	72,773
売上原価	50,085	51,741
売上総利益	19,780	21,032
販売費及び一般管理費	14,212	14,613
営業利益	5,567	6,419
営業外収益		
受取利息	20	22
受取配当金	191	223
受取保険料	141	143
その他	378	281
営業外収益合計	731	671
営業外費用		
支払利息	265	214
支払手数料	18	113
その他	327	237
営業外費用合計	611	565
経常利益	5,686	6,525
特別利益		
固定資産売却益	21	0
投資有価証券売却益	0	1
関係会社株式売却益	53	－
特別利益合計	75	1
特別損失		
減損損失	12	115
固定資産除売却損	－	1
関係会社株式売却損	107	－
投資有価証券評価損	0	32
特別損失合計	120	149
税金等調整前四半期純利益	5,641	6,377
法人税、住民税及び事業税	1,680	2,446
法人税等調整額	528	△140
法人税等合計	2,208	2,306
少数株主損益調整前四半期純利益	3,432	4,070
少数株主利益	323	260
四半期純利益	3,108	3,810

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,432	4,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,002	△1,178
繰延ヘッジ損益	93	68
為替換算調整勘定	△1,185	△910
持分法適用会社に対する持分相当額	123	6
その他の包括利益合計	△1,971	△2,014
四半期包括利益	1,461	2,056
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,126	1,788
少数株主に係る四半期包括利益	334	267

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,641	6,377
減価償却費	3,586	3,425
減損損失	12	115
のれん償却額	―	5
固定資産除売却損益（△は益）	1	73
投資有価証券評価損益（△は益）	0	32
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	△1
関係会社株式売却損益（△は益）	53	―
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△108	△7
退職給付引当金の増減額（△は減少）	19	△117
売上債権の増減額（△は増加）	△1,673	2,743
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,388	△343
仕入債務の増減額（△は減少）	△881	△2,283
その他	△799	△560
小計	4,465	9,458
利息及び配当金の受取額	211	231
利息の支払額	△265	△213
法人税等の支払額	△2,917	△2,534
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,494	6,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△122	△31
定期預金の払戻による収入	0	59
投資有価証券の取得による支出	△606	△7
投資有価証券の売却による収入	2	5
関係会社株式の取得による支出	△25	―
関係会社株式の売却による収入	234	―
連結範囲の変更を伴う子会社株式及び出資金の取得による支出	―	△6,313
関係会社出資金の払込による支出	△92	―
短期貸付金の純増減額（△は増加）	―	63
長期貸付けによる支出	△13	△16
長期貸付金の回収による収入	30	32
固定資産の取得による支出	△3,627	△5,916
固定資産の売却による収入	162	151
資産除去債務の履行による支出	△2	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,059	△11,980

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	440	△1,697
長期借入れによる収入	398	10,397
長期借入金の返済による支出	△627	△308
リース債務の返済による支出	△46	△142
割賦債務の返済による支出	△152	△4
少数株主からの払込みによる収入	－	211
配当金の支払額	△744	△748
少数株主への配当金の支払額	△182	△166
自己株式の取得による支出	△2	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△915	7,536
現金及び現金同等物に係る換算差額	△151	△178
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,631	2,319
現金及び現金同等物の期首残高	17,308	13,916
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	1,048	2,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,724	18,446

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額
	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	小計				
売上高									
外部顧客への売上高	25,256	10,766	19,857	13,134	69,014	850	69,865	―	69,865
セグメント間の内部売上高又は振替高	708	190	0	7	906	446	1,353	△1,353	―
計	25,964	10,957	19,858	13,141	69,921	1,297	71,218	△1,353	69,865
セグメント利益（営業利益）	1,819	1,379	1,734	367	5,300	62	5,363	203	5,567

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額203百万円には、セグメント間取引消去241百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△37百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額
	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	小計				
売上高									
外部顧客への売上高	24,508	9,826	24,396	13,075	71,805	968	72,773	―	72,773
セグメント間の内部売上高又は振替高	580	179	―	60	820	466	1,287	△1,287	―
計	25,088	10,005	24,396	13,135	72,625	1,435	74,060	△1,287	72,773
セグメント利益（営業利益）	1,922	1,017	3,244	261	6,444	92	6,537	△118	6,419

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△118百万円には、セグメント間取引消去128百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△246百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：百万円）

	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	その他(注)	調整額	合計
減損損失	―	―	―	―	115	―	115

（注）「その他」において、取壊しの意思決定をした建物等につき、帳簿価額を回収可能額まで減額し、既存建物の解体費用を含めて減損損失を計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

（単位：百万円）

	チェーン	精機	自動車部品	マテハン(注)	その他	調整額	合計
のれん	―	―	―	4,375	―	―	4,375

（注）「マテハン」において、当第２四半期連結会計期間にメイフラン・ホールディングスグループ傘下の全事業を取得したことにより発生したものです。また、発生したのれんの金額は、暫定的に算定された金額であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。